



2月定例会 県議会

小島「代表質問で県政を質す」
新年度予算などを可決

2月16日に開会した2月定例会県議会は、3月16日までの本会議で、総額8、625億円余の29年度一般会計予算案、屋外広告物条例の一部を改正する条例案、追加の補正予算案、監査委員の選任など知事提出の79議案を審議し、いずれも原案どおり可決・同意しました。

3月14日の本会議では、採決に先立ち県の消防防災ヘリコプター「アールプス」の墜落事故で亡くなられた9名の隊員に哀悼の意を表し黙祷を捧げました。

会期末の役員改選により、常任委員会構成は別表のとおり決定しました。



本会議でヘリ事故犠牲者に黙祷を捧げる



下沢副議長のもと質問する小島康晴代表

現を重点テーマに予算編成に当たった。「県民参加と協働」が県政の重要テーマだ。

【小島議員】知事の考える地域の振興とは何か。

【阿部知事】それぞれの地域に暮らす方々が地域への愛着、誇りを持つとともに、将来に向けてその地域における夢や希望を持ち続けることができる。ことが地域振興の姿であると思う。

【尾崎警察本部長】28年中における65歳以上高齢運転者の免許返納件数は5,013件で、前年より1,096件増加した。運転御代田町と小諸市とすることを決定しました。

【小島議員】高年齢者の免許返納の現状や今後の取組はいかがか。

【阿部知事】人口減少対策、地域経済の活性化、多様な働き方・暮らし方の創造、個性豊かな地域づくり、安全安心な社会の実現。

進めよう議会改革!!

選挙区等調査特別委員会では、2月17日に第8回委員会を開催し、総定数に係るこれまでの検討内容の確認や取扱いをどうするかについて、各会派から意見を出し合い、現行58の総定数を「1減」し57とすることを決定しました。3月13日の第9回委

知事に緊急申し入れ

子どもの医療費現物給付化を

1月20日、我が会派は、国が30年度から未就学児分に限って補助金の減額措置を廃止することを決めたことを踏まえ、「すべての市町村が義務教育終了(中学校3年生)まで子どもの医療費の現物給付(窓口無料化)を実施できるように支援をすべき」として申し入れを行いました。

これに対し阿部知事は「できるだけ足並みをそろえていけるよう市町村と一緒に考えてい」と答えました。

常任委員会等構成 (◎委員長 ○副委員長)			
総務企画警察	小島康晴	下沢順一郎	◎石和 大
県民文化健康福祉	◎小林東一郎	依田明善	寺沢功希
環境産業観光	山岸喜昭	花岡賢一	
農政林務	高橋 宏	竹内久幸	
危機管理建設	○埋橋茂人	今井愛郎	
文教企業	荒井武志	◎堀場秀孝	
議会運営	高橋 宏	小島康晴	○今井愛郎
決算特別(内定)	竹内久幸	○寺沢功希	花岡賢一

代表に下沢議員

免許センターでの日曜窓口の開始や2月からは代理人による返納申請を始めた。今後、高齢者の移動手段の確保など、高齢者支援対策を推進していく。

下沢順一郎議員が、申し合わせにより副議長職を辞任したことを受け、会派内人事を協議した結果、代表に再就任しました。小島康晴前代表は、代表代行を担うことになりました。

県政対話集会inいもろ

1月23日、小諸市「市民交流センター」で「信州・新風・みらい」による2回目の「議員提案で『歯科保健推進条例』を制定し施策を充実させているが、さらにしっかりとやっていきたい」と、

にいかん農地を集積し、意欲ある方に利用してもらうかが課題。集積は進んでいるが地域差が大きい」と答えました。

6月定例会日程(予定)

- ▽6月22日 開会
- ▽27～30日 一般質問
- ▽7月3～6日 委員会審議
- ▽7日 採決・閉会